

鳥羽市議会改革推進特別委員会
調査事項に関する小委員会会議録

令和元年6月26日

○出席委員（6名）

委員長 戸上 健

委員 濱口正久

委員 河村 孝

議長 木下 順一

副委員長 山本 哲也

委員 瀬崎 伸一

委員 浜口 一利

○欠席委員（なし）

○職務のために出席した事務局職員

事務局長 清水 敏也

書記 中山 真緒

次長兼
議事総務係長 木田 崇

(午後 0時04分 開会)

○戸上 健委員長 それでは、議会改革推進特別委員会の第1回の小委員会を開きます。

小委員の皆さん、引き続きの会議、ご苦労さまでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

委員長の思案として、そこにレジュメをつくっておきました。

まず、小委員の役割についてです。

全体会議で確認された方向性に則して、きょう確認されましたので、具体化して提案をする。それから、委員会メンバーが問題意識を研ぎ澄まして、ナンバーワン議会への機動力になる。そのために各地の先進事例、参考事例を収集し、鳥羽型改革を練り上げ、全体会議に提案していく。これが小委員の役割です。

当面の小委員会活動のスケジュールについて申し上げます。

小委員会としての確認事項ですが、委員会として依拠をすべき基本というのは、鳥羽市議会基本条例になります。いわば、鳥羽市議会のバイブルで鳥羽市議会の憲法というべきものです。各自がこの基本条例を再度読み直していただいて、なかなか読み返してという機会がないというふうに思います。新しい議員の方々は、新人議員研修会で学ばれたというふうに思うんです。次回の委員会で、吟味、検討、検証項目を上げたいというふうに思うんです。

それで、私も各市のやつを調べましたら、所沢市議会の議会評価報告書、これが参考になります。そこに、添付しておきました。これは毎年やっておるやつですけれども、所沢市議会は、議会改革基本条例に則して、評価の対象事業、こういうものをまず上げて、そして、議会の事業評価表、これを全部で1段階から7段階まで決めるというふうにしております。また参考にさせていただきたいというふうに思うんです。ここは、最後につけてありますけれども、要綱を定めております。これも参考になるんじゃないかというふうに思います。所沢市議会のほかでも、議会基本条例に則して自分たちがやってきた議会活動を、基本条例に照らしてどうなのかということを検証しているところが多々ありますので、多いにこれも学びたいというふうに思います。鳥羽市議会として、議会基本条例に則してみずからを検証したということは、ほとんど僕も記憶がありません。

前期の調査事項ですけれども、これは、皆さん方のところに、事務局をお願いして送信していただいたというふうに思います。例の斜線の引っ張ってあるやつをお持ちだというふうに思うんですけれども、iPadにもあるというふうに思うんですけれども、議会改革推進特別委員会の調査事項、これは、検討内容が8月30日の最終のやつでは、28項目あります。うち、委員長、事務局提案というのが15項目、議員の提案が10項目ありますけれども、提案した議員は4人のみでした。議運や執行部提案が3項目。主流が委員長と事務局提案、これが占めているわけなんです。ですので、私は委員長ですけれども、私があればこれと提案することよりも、全体で提案していただくということを主眼に今回は置きたいというふうに思います。議員の皆さんから提案されるという調査項目が圧倒的多数になるようにしたいというふうに思うんです。

それから、スケジュールですけれども、第2回の小委員会で、議員と小委員会メンバー双方から募った改革テーマ、これの数字を載せたいというふうに思います。

次回は、7月2日、これはちょっと副委員長の一手を最優先しましたもので、今あいておるのが7月2日もしくは9日ということになりますので、また皆さんのほうで、この日というのを決めていただきたいと思います。

んです。その前日までに、事務局へメールをすると。出されたテーマに基づいて、改特の全体会議、できれば7月23日に健康福祉課の研修会がありますもので、それにあわせて開けないかというふうに思います。議員から改革テーマというのを募るわけですが、それぞれ提案した議員からプレゼンを受けて、どういう問題意識を持って何を狙うのかということそれぞれ例記していただきたいというふうに思うんです。小委員会で、テーマに則した他市化事例、これを集めて補強作業を進めると。それから、各議員の問題意識が出そうなので、見合う研修会の講師の要請、これを準備したいというふうに思います。講師を4人ばかり名前を挙げましたが、どういってテーマで講師が講義してくるのかということになりますので、こういうテーマでぜひ話してほしいということをごちから要請しなければなりません。それを決めるのが、全体の問題、テーマ、これが出そろった段階でというふうにしたいと思うんです。9月の議会に合わせて改特を開いて、短期の可能な改革テーマ、これを幾つか決定していきたいというふうに思います。

私から提案させていただくのは以上ですが、皆さん方のほうで、これについてはどうだと、これはもっと補強すべきという点があれば、ご発言願いたいというふうに思います。

まず、小委員会の役割、これについてはいかがでしょうか。

河村委員。

○河村 孝委員 今から新しい試みをやってみるところですね。今まで小委員会は、海女条例をつくる際のワーキンググループでしかなかったもので、恐らく改特での小委員会はなかったと思います。せっかく委員長が提案していただいたので、ぜひやってみるという方向性でいいと思うんですけれども、議運との差別化、議運で話し合うことはこうだと。改特の小委員会で話し合うところはこうだみたいところが、分けるのが難しいのかなと思うんですけれども、とりあえずやってみる中で考えていかなあかんと。初めての試みなので、何がええというのもよくわからん。とにかく前へ進めるという気持ちを持ったメンバーが集まっていると思うんで、まずやってみて、その辺が、議運はこういうこと、小委員会はこういうことみたいところで進めていく中で分けていくのがいいのかなと思うのが1点。

所沢の資料を読ませてもらって、ちらっと見ただけなんですけれども、予算委員会のところに関する評価みたいなものもあったんですけれども、これはちょっと確認なんですけれども、議会の中の事業に対する評価オンリーということでよろしいんですか。

○戸上 健委員長 そういうことです。

○河村 孝委員 わかりました。

○戸上 健委員長 河村委員から意見が出ましたけれども、議運との整合性で、これを進める中で、議長がオブザーバーでいらっしゃいますので、議長から、そのあたりは、もし逸脱すると、議運としての決定事項だ、協議事項だということになれば、また議長のほうからアドバイスを願うというふうにしていきたいと思うんです。

事務局で、何か意見はありますか。ありませんか。

小委員の役割については、こういう方向で、また皆さんで補強していただきたいというふうに思います。

小委員会活動とスケジュールなんですけれども、議会基本条例がせっかく、あれは僕らの2期目、3期目のメンバーだったというふうに思うんですけれども、英知を集めてつくってもらった、なかなか生かし切れていないのが現状じゃないかというふうに思います。ですので、もう一度議会基本条例に光を当てて、そして、現

状の議会基本条例に則してみずからをチェックするということを基本据えながら、資料にも出てはいますが、基本条例の見直し、補強、これがあれば、それも取り上げていくというふうにしたいと思います。まず、当面は、議会基本条例に則して、我々みずからをチェックしたいというふうに思うんです。

きょうは第1回ですので、第2回でさらに議論を詰めたと思いますもので、皆さん方のほうでも、私は所沢のやつを添付しましたけれども、それぞれの小委員の皆さんで、特に調査もしていただいて、そして、このこれがおもしろいというのがあれば第2回の委員会を出していただいて、さらに議論を深めたいというふうに思います。

調査項目なんやけれども、さっきも言いましたけれども、委員長、事務局提案というのが大半というか主流を占めていました。28の中の15がそうやもので、6割以上がそうでした。余り私の独断専行にならんように、委員長が全部テーマを決めて、出して、みんなに諮るということはないで、皆さんから出していただきたいというスタンスでいきたいというふうに思うんです。

これ、委員長、事務局提案ということやったもので、事務局も大いにこれを出してもらっておったんやな。
事務局。

○中山書記 委員長と相談させていただきながら、事務局の意見も少し加えさせていただきながら、提案させていただいたという形になります。

○戸上 健委員長 そうやな。
浜口委員。

○浜口一利委員 私は、今の委員長の話なんですけれども、戸上委員長が、一番議会改革推進特別委員会の委員長になるのにふさわしいと思って、なんとかお願いしたいということで私も勤めてきたわけやもので、多少委員長の独断があってもいいと思うんですけれども、そのことも含めて、我々もいろいろ考えてはいきたいと思っています。

○戸上 健委員長 わかりました。

○浜口一利委員 そんなに遠慮しないで、どんどん言っていただければいいと思うので。

○戸上 健委員長 というご指摘ですので、私も、尻ごみするというか後見に座るんじゃなしに、どんどん私の素案といいますか思案、これも皆さん方のほうに提起させていただきたいというふうに思います。

それから、スケジュールですけれども、次の第2回までに、委員の皆さんから、1つは議会基本条例、これに基づいてのテーマ、それからもう一つは、全体の改革のテーマ、これを出し合っていたきたいというふうに思うんですけれども、次の第2回の小委員会までに、全体会議で皆さんにお願いをしたように、それぞれまた皆さんからも出していただくということになっています。それが集まりますもので、まず日程なんですけれども、今のところ7月2日という案が出ておるんですけれども、皆さんのご都合はいかがでしょうか。日程を決めていってよろしいでしょうか。

(「広報広聴が午前中にありますので」の声あり)

○戸上 健委員長 7月2日ね。ということだったんです。広報広聴が午前中ですので、広報広聴と。

(「かぶっているメンバーばかりです」の声あり)

○戸上 健委員長 皆さんダブっているのかいな。

事務局。

○中山書記 話すときはマイクをお願いいたします。

○戸上 健委員長 発言のときはマイクを入れてください。

7月2日午前中は広報広聴委員会なので、1日なるかもわかりませんが、午後から小委員会ということとさせていただきますよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 それまでに、事務局のほうに、皆さんの思案というのをメールしておいてください。真緒書記のほうへメールしておいてください。改特の全メンバーからも集まりますもので、2日にそれを一覧表でまた検討をしたいというふうに思います。それでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 それから、第2回の委員会の協議事項になろうというふうに思うんですけども、全体会議に、こういうものが出ましたと。ダブるやつもあるというふうに思いますもので、それを小委員会で整理をした上で、第2回の改特に、全体会議かけて、そして皆さんからプレゼンしてもらおうという方向ですけども、一応7月23日の研修会に合わせて、午前か午後かどちらになるかわかりませんが、段取りすることよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○戸上 健委員長 これはちょっと事務局調整してくれますか。

あと、その他皆さんのほうで、運営や課題について、ご意見ございませんでしょうか。

(「特にありません」の声あり)

○戸上 健委員長 はい。

○山本哲也委員 これ、先に配っていただいているやつにも書いてもらってあったと思うんですけども、2枚目のほうで、7月5日の自治研センターの研修会がございますので、今回高沖さんが講師でしゃべっていただけるといので、できればこのメンバーは参加していただけたら、タイトルのところも、きょう締め切りなんです。講座の内容として、議会の役割と機能、議員の役割、資質、二元代表制と議会改革とかというテーマもありますし、午後からは、議会の監視機能、また政策形成の機能ですとか、そういったところが今回の講演テーマと研修テーマになりますので、この辺も議会の基礎講座ということなんですけれども、議会改革を進める上では必要なことかなというふうにも思いますので、ぜひこの委員会のメンバーは参加いただけたらなというふうに思います。

(「すみません、されている方はいらっしゃいますか、高沖さんの7月5日」の声あり)

○戸上 健委員長 正久委員。

○濱口正久委員 僕もそれをちょっと聞きたかったので、皆さんそれで研修に行かれるんやったら。研修には新人研修みたいなことを書いてあったんですけども、別に大丈夫ですね、皆さん。わかりました。

(「新人に限りませんとも書いて」の声あり)

○濱口正久委員 そういうことですね、ありがとうございました。

○戸上 健委員長 それで、正副委員長も、打ち合わせのときに、小委員会で勉強会もしようということで、高

沖さんに講師を頼めないかという意見が出ていました。そやもので、5日の日に私も行きますもので、高沖さんに、皆さんで行ったメンバーで、鳥羽市議会、議会改革推進特別委員会小委員会をつくったと。ぜひまずいろはから教えてくれということで、チューター役をお願いしようというふうに思うんです。

今の正久さんと。

(「予定入れました」の声あり)

○戸上 健委員長 私と。瀬崎さんは、予定はどうですか。オーケーですか。

○瀬崎伸一委員 はい。

○戸上 健委員長 河村委員は難しかったですか。

河村委員と一利委員。

○浜口一利委員 私もちよっと難しい。

○戸上 健委員長 難しい、わかりました。

○浜口一利委員 予定が入ってあるもので。

○戸上 健委員長 わかりました。じゃ、行けるメンバーで、また高沖さんをお願いしたいと思いますもので、ひとつよろしくをお願いしたいというふうに思います。

ごめん、その前の小委員会の勉強会ですけれども、高沖さんに来ていただくということは、よろしいでしょうか。講師を要請するということは。

(「異議なし」の声あり)

○戸上 健委員長 事務局、ごめん、講師料が発生する場合は、これはどうなのかな。

○中山書記 講師料が発生する場合は、もちろん研修会費として盛ってある部分はあるんですが、もし高沖さんに来ていただくということであれば、小委員会だけでなく全議員で受けていただくというのがいいのかなというふうに考えます。

○戸上 健委員長 なるほど、そうやな、わかりました。

事務局。

○中山書記 あと、もしくは政務活動費で講師として呼ぶということもできますので、そういったことも考えていっていただければと思います。

○戸上 健委員長 皆さんから1万円ずつ出してとか、そういうことやな。わかりました。なるべく、高沖さんに安く来てもらうように、僕のほうからお願いしてみます。

あと、皆さんのほうでご意見ございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○戸上 健委員長 それじゃ、以上で第1回の小委員会を閉じたいと思います。どうもありがとうございました。

じゃ、2日よろしくお願いいいたします。

(午後 0時24分 散会)

委員長はこの会議録をつくりここに署名する。

令和元年6月26日

議会改革推進特別委員長 戸 上 健